

授業科目 生活構造論Ⅱ

【担当教員名】 米林 喜男	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】
患者・障害者を「生活者」としてとらえ、その生活の全体構造を、①家族・親族、②地域社会との関係を重視しつつ分析する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
1. 患者・障害者の生活構造と、家族構造、地域社会構造との関連を理解する。
2. 患者・障害者の生活問題と、家族問題・地域社会問題との関連を理解する。
3. 患者・障害者の生活問題と、保健・医療・福祉問題との関連を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	患者・障害者を生活者としてとらえる意義を理解する。	講義受講（受講者が少なければ 討論も行う）、 読書、事例調査など自主学习 （慢性・難治性疾患患者および その家族の生活記録等）
2	疾病・障害と生活との関係を理解する。	
3	疾病・障害の重度化と生活問題・生活課題の変化との関連を理解する。	
4	事例研究とは何かについて理解する。	
5	主要な慢性・難治性疾患患者および心身障害者とその家族について、事例研究を行う	
6	＃	
7	＃	
8	＃	
9	＃	
10	＃	
11	＃	
12	＃	
13	＃	
14	＃	
15	まとめ	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特定のものは使用しない			
参考書	随時紹介する			
その他の資料	必要に応じて印刷教材を配布する			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	【履修上の留意点】 患者・障害者およびその家族の生活記録を読み、自主的に事例研究してほしい。
-------------------------------------	---

社会福祉学科 専門